二〇一八年九月二八日

俯瞰せる大和盆地は豊の秋　せいじ
哲学の道席巻す盗人萩　明日香
大ホールタクトが紡ぐ秋の音　たか子
籾の殻ほどく野良着のポケットに　やよい
汽車を待つカメラ小僧や秋桜　智恵子

二〇一八年九月二七日

ご祝儀を鬼に握らせ里神楽　さつき
落葉掃く巫女は大きな箒もち　智恵子
ツアーバス巡る棚田の案山子展　こすもす
影絵めく富士の全容秋夕焼　なつき
屋根修理中なのにまた台風来　満天
芋の葉のあち見こち見し露こぼす　明日香

二〇一八年九月二六日

魚信まつ釣り人の默秋の風　ぽんこ
鳶職のみるみる屋根へ秋日和　さつき

二〇一八年九月二五日

四つ目垣ほころぶままに萩の寺　さつき
特急の窓に併走鰯雲　せいじ
子規句碑を要としたる萩の寺　菜々
句碑の文字なぞる指先秋の冷え　明日香

二〇一八年九月二四日

風連れて駈けくる吾子や曼珠沙華　なつき
朝靄のベールを脱ぎし花畑　宏虎

二〇一八年九月二三日

あした行く机上の旅や長き夜　愛正
畑仕事終へて家路へ秋夕焼　こすもす
野地蔵の背ナのなぞへの彼岸花　ぽんこ

二〇一八年九月二二日

軒先に古りし杉玉ちちろ鳴く　こすもす
赤とんぼ腰に纏はるごと乱舞　明日香
赤とんぼ行き交ふ古墳コンサート　やよい
杖を手に至福の一と日大花野　三刀

毎日句会みのる選・二〇一八年九月三〇日